

しもすわフォトストーリー まちの話題を写真でご紹介します。



11/16 (水) 松山三四六氏子育て世代に熱い講演

タレント活動、大学教育など多彩に活躍する松山三四六氏に子育てに関する講演を行っていただきました。自身の子育て経験から「子育てはリハーサル無しの本番」と会場のみなさんと共感しつつ、学歴や収入に関係なく、仲間を支え、時には支えてもらえる人間関係が作れる子に育ててほしいとのお話がありました。ユーモアを交えて語る松山氏に、終始会場はなごやかな雰囲気になっていました。

12/1 (木) 新たな民生児童福祉委員に委嘱書を交付 退任委員20人に感謝状贈呈

任期満了に伴う民生児童福祉委員委嘱書交付式が行われました。この日から新たに任期が始まった民生児童福祉委員に対し委嘱書を交付し、3年間の委員としての活動に協力を求めました。

また退任される委員20人に対し、これまでの活動に対する感謝状を贈呈しました。

新しい民生児童福祉委員は、クローズアップしもすわ1月号に掲載されています。



12/2 (金) 防災意識日本一の町を目指して 武藤工業緊急避難路完成

昨年度、第2区が策定した地区防災計画（地区防災マップ）の中で、災害時、武藤工業(株)諏訪工場を地域住民の避難場所として利用したいとの要望を受け、町と武藤工業(株)は「災害時における避難者支援に関する協定書」を締結し、工場北側、中山道沿いのフェンスからの出入り口を整備しました。車椅子やベビーカーなどの要配慮者等でも、スムーズに安心して避難できるようスロープと手摺りも設置しました。雨水の敷地内への軽減化のため透水性舗装を採用するなど、歩きやすい路面になっています。

12/4 (日) 歌人 島木赤彦 「童謡」コンクール表彰式

アララギ派の歌人“島木赤彦”は、短歌だけではなく童謡詩人としても広く知られています。

その赤彦の作風を引き継いだ童謡作品が、今年も全国各地から1,391点集まりました。厳選な審査の結果80点の入選作品が選ばれ、その表彰式が赤彦記念館にて開催されました。

当日は晴天に恵まれ、多くの方々にご出席いただき、青木町長および島木赤彦研究会代表者の方による賞状と記念品の授与が行われました。





12/7 (水) 長野県男女共同参画推進県民会議表彰 女性消防隊が受賞を報告

町消防団女性消防隊が、11月26日開催の長野県男女共同参画推進県民会議表彰を受け、女性消防隊長が消防団長とともに町に受賞を報告しました。

女性消防隊は2005年に発足し、現在までの10年間で、保育園児等への防災教室や応急処置講習会の開催など、女性の視点による、女性ならではの活動を続けています。今回の受賞は、発足から10年にわたる活動が高く評価されたものです。

12/15 (木) 希少な黒曜石の塊1トン 芙蓉パーライトから町に寄贈

黒曜石を加工し建材用の軽量骨材などを製造販売している芙蓉パーライト株式会社（本社：樋橋）から、現在建築中の「埋蔵文化財センター」（仮称）で活用して欲しいと、町に黒曜石の塊約1トンを寄贈していただきました。

今後、寄贈していただいた黒曜石は、埋蔵文化財センター（仮称）での展示や体験型のメニューなどで有効活用していく予定です。



12/21 (水) 山出し担当区氏子の代表者 秋宮一の用材の一部を町に寄贈

御柱祭下社山出しで曳行を担当した、第1区、2区、3区、7区、9区の氏子の代表の皆さんから、曳行前の木作り作業の1つ、どじょう口の形成の際に出た秋宮一の用材の一部を町に寄贈していただきました。

用材はついたて状に加工され、諏訪大社 北島和孝宮司により「神人和楽」と書かれています。

寄贈された用材の一部は、おんばしら館よいさに展示されていますので、是非ご覧ください。

1/4 (水) 始まりは地区の有志5人 区民らに愛され続けた高木温泉 歴史に幕

高木地区で長年地域の方に親しまれてきた、共同浴場「高木温泉」の閉所式が行われました。

町誌によると、大正10年、地区の有志5人が諏訪湖中を掘って温泉を掘り当てることに成功。その後、湧出権利を区に譲渡し、同年12月に共同浴場の上棟式にあわせて開場披露式が行われたとあります。

大正10年から一世紀近く地区の住民らに愛され続けた高木温泉は、惜しまれながら閉場しました。

